



□ 1. 大名物 銘「常念」  
(★★★★)

所在地 二の丸 黒門土橋南詰  
見える山 常念岳 標高2857m  
および北アルプスの山並み

### ◆唯一の常念岳

松本平を代表する常念岳は、本丸入口であるこの場所に天守の借景として配されている。意外なことに、城下町には常念岳に向かう通りが一本もなく、意図的に見せなかったとの説がある。閉鎖空間であった二の丸に突如あらわれる山紫水明の景観は、大切な客人をもてなすために城主が用意したサプライズだった。

### ◆唯一の天守全貌

当時三の丸は高さ6mにおよぶ土塁と土塀で周囲を囲われていた。また、二の丸にも土塁の図面が残っている。松本城は平地に置かれた平城であるため、城下町から天守の全貌を見ることはできなかったはずだ。天守台石垣から最上階までを一望できるのはこの場所に限られていた。この景観は城主渾身の作品である。



### ◆登城ルートを書いてみよう！

赤い線が当時定められた登城ルートです。二の丸には東側の太鼓門から入ります。常念岳が見えるのは実線部分、天守の全体が見えるのは二重丸部分に限られます。この景観の秘密を体感してください。



□ 2. 名物 銘「美ヶ原」(★★)

所在地 三の丸  
通りの名前 上小路(うわこうじ)  
見える山 美ヶ原(王ヶ鼻)標高2008m  
上小路の突き当りには、かつて三の丸東門がそびえていた。美ヶ原の名称は古く江戸時代の文献に確認できる。



□ 3. 銘「うつくし」(★)

所在地 城下  
通りの名前 天神小路  
見える山 美ヶ原(王ヶ鼻)標高2008m  
地元では美ヶ原のことを「うつくし」と呼ぶ。通りの突き当りの深志神社には天神様が祀られており、この名がついた。



□ 4. 銘「乗鞍」(★)

所在地 城下  
通りの名前 餌差町(えさしまち)  
見える山 乗鞍岳 標高3026m  
町名は鷹狩用の鷹の餌をとる、足軽の役職に由来する。乗鞍岳までは約40kmの距離があり、ここに挙げた山の中で最も見えにくい。



□ 5. 銘「袴越」(★)

所在地 城下  
通りの名前 徒士町(おかちまち)  
見える山 袴越山(はかまごしやま) 標高1753m  
文字通り下級武士が住んだ町である。松本市重要文化財の武家住宅、高橋家住宅が現存する。

5 7  
6 8